

令和3年(2021)3月 入域観光客数概況

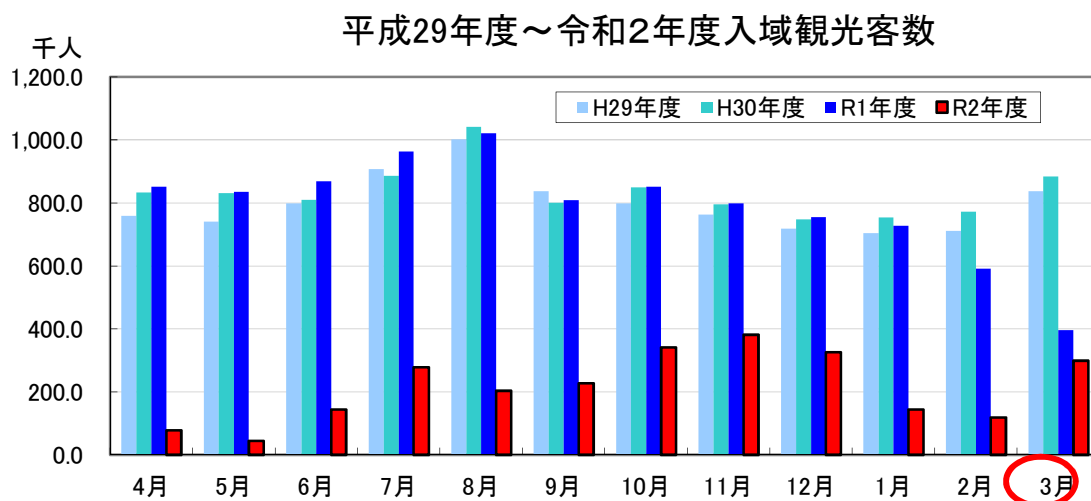
29万9,200人
 対前年(R2)同月比 -9万7,100人、-24.5%
 ~3月としては対前年同月比で減少数、減少率ともに過去3番目~

入域状況

入域観光客数(令和元年度との比較) ※外国客については、乗務員等を含む

区分	R2年度	R1年度	増減数	増減率	構成比
国内客	299,200 人	393,900 人	△ 94,700人	△ 24.0%	100.0%
外国客	0 人	2,400 人	△ 2,400人	皆減	0.0%
合計	299,200 人	396,300 人	△ 97,100人	△ 24.5%	100.0%

(参考)乗務員等を除いた入域観光客数 R2年度 299,200人 R1年度 396,300人



国内客 入域状況

3月は、航空路線での運休・減便が継続したこと、また、国の緊急事態宣言の影響などから、前年同月を下回った。

4月は、航空路線での運休・減便やGo Toトラベル事業の一時停止の継続、また、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置及び国の緊急事態宣言の影響などから、厳しい状況が予想される。

外国客 入域状況

3月は、台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、日本への入国制限措置がとられたことなどから、引き続き皆減となった。

4月は、日本への入国制限措置がとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

国内客 地域別入域状況

区分	R2年度	R1年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	143,800 人	191,700 人	△ 47,900人	△ 25.0%	48.1%
関西方面	67,000 人	85,000 人	△ 18,000人	△ 21.2%	22.4%
福岡方面	41,800 人	52,400 人	△ 10,600人	△ 20.2%	14.0%
名古屋	27,900 人	31,200 人	△ 3,300人	△ 10.6%	9.3%
その他	18,700 人	33,600 人	△ 14,900人	△ 44.3%	6.3%
合計	299,200 人	393,900 人	△ 94,700人	△ 24.0%	100.0%

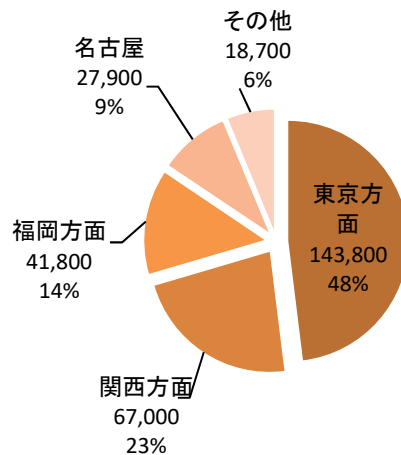
※国内海路客1,200人を含む(鹿児島1,200人)

外国客 国籍別入域状況

増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R2年度	R2年度	R1年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	0 人	0 人	600 人	△ 600人	皆減	N/A
韓国	0 人	0 人	100 人	△ 100人	皆減	N/A
中国本土	0 人	0 人	0 人	△ 0人	#DIV/0!	N/A
香港	0 人	0 人	800 人	△ 800人	皆減	N/A
アメリカ	0 人	0 人	300 人	△ 300人	皆減	N/A
タイ	0 人	0 人	0 人	△ 0人	#DIV/0!	N/A
シンガポール	0 人	0 人	400 人	△ 400人	皆減	N/A
その他	0 人	0 人	200 人	△ 200人	皆減	N/A
合計	0 人	0 人	2,400 人	△ 2,400人	皆減	N/A

国内客の地域構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
韓国	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
中国本土	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
香港	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
アメリカ	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
タイ	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
シンガポール	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
その他	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
合計	0 人	0 人	皆減	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、主要方面別で対前年同月比の減少率が最も大きかった。羽田-那覇路線などでの減便が継続されたことや、国の緊急事態宣言が1都3県で継続され、不要不急の外出自粛要請が行われた影響などから、前年同月を下回った。

4月は、羽田-那覇路線で新規路線が就航し、減便規模が縮小されるものの、まん延防止等重点措置及び国の緊急事態宣言の影響などから、厳しい状況が予想される。

関西

3月は、国の緊急事態宣言が解除され、関西-宮古路線で減便規模が縮小されたものの、関西-那覇路線などで減便が継続された影響などから、前年同月を下回った。

4月は、関西-宮古路線で復便となるものの、関西-那覇路線などでの減便が継続されていること、まん延防止等重点措置及び国の緊急事態宣言の影響などから、厳しい状況が予想される。

福岡

3月は、国の緊急事態宣言が解除され、福岡-石垣路線で減便規模が縮小されたものの、福岡-那覇路線で減便が継続された影響などから、前年同月を下回った。

4月は、福岡-石垣路線で復便となるものの、福岡-那覇路線で減便が継続されている影響などから、厳しい状況が予想される。

名古屋

3月は、主要方面別で対前年同月比の減少率が最も小さかった。国の緊急事態宣言が解除され、中部-宮古路線で減便規模が縮小されたものの、中部-那覇路線などで減便が継続された影響などから、前年同月を下回った。

4月は、中部-宮古路線で復便となるものの、中部-那覇路線などで減便が継続されていることや、まん延防止等重点措置が実施されている影響などから、厳しい状況が予想される。

台湾

3月は、台湾(台北、台中、高雄)-那覇の3路線が全て運休になっていることに加えて、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、前年同月比で皆減となった。

4月は、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

韓国

3月は、韓国(ソウル、釜山、大邱)-那覇の3路線が全て運休になっていること、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、前年同月比で皆減となった。

4月は、航空路線の運休や日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

中国本土

3月は、中国(上海、杭州、南京、青島)-那覇の4路線が全て運休になっていること、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、前年同月比で皆減となった。

4月は、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

香港

3月は、香港-那覇路線が運休になっていることに加えて、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、前年同月比で皆減となった。

4月は、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。